

## 令和2年度 第4回石狩市叢書発刊編集委員会

■日時：令和3年3月4日（木）16：00～

■場所：石狩市役所3階 庁議室

■出席者：下記表のとおり

委員・臨時委員		職員（事務局等）	
役職	氏名	所属	氏名
委員長	田岡克介（欠席）	総務部長	及川浩史
委員	石橋孝夫	総務部総務課文書・統計担当主査	森本栄樹
委員	村山耀一	総務部行政管理課主査（臨時）	小林 睦
委員	志賀健司		
委員（臨）	三島照子		
委員（臨）	工藤義衛		

### 【事務局（森本）】

第4回叢書発刊委員会を開催いたします。田岡委員長が急きょ欠席のため、この後の進行は私が進めさせていただきます。本日は、第2校の確認となります。はじめにデザインの確認となりますが、どうでしょうか。

### 【村山委員】

これで私は良いと思いますが、将来的にNo. 2、No. 3としてテーマが変わっていく時に、この部分の書き方は統一した方が良いと思います。今の状態では良いと思います。将来的に、No. 2以降の部分をこういう形で行くことを想定して決めたら良いと思います。

### 【事務局（及川）】

2巻目以降を出す時もイメージをして、今、きちんと考えておいた方が良いのでは無いかということですね。志賀委員はどうでしょうか。

### 【志賀委員】

良いと思います。今後、このシリーズではこの形は変えないというものであれば。

### 【三島委員】

ここは、変わらないですね。フォントとか、大きさとか。

### 【事務局（森本）】

石狩市、石狩叢書の1番のところは変えないで、表題「私の体験したサケ漁 吉岡さんの昔語り」ここだけが変わっていくこととなります。

【事務局（及川）】

基本的には、今のフォントと大きさを踏襲することとなります。

【村山委員】

例えば、次回のテーマが5文字しか無い場合にこれが更に小さくなるので、テーマが短い場合を考えた時に大きさとして良いかなという感じがします。

【事務局（森本）】

分かりました。デザインはこれで進めさせていただきます。次に地図となります。

【村山委員】

この地図は、いつの地図ですか。当時の地図、今の地図ですか。例えば、吉岡さんの地図で灯台の中のあたりに中州とあります。当時はあっただろうが、活字として残しているのですね。これは良いですか。

【石橋委員】

これは削れるならば削除してはどうか。

【事務局（森本）】

中州は削除します。

【志賀委員】

現在の地名と昔の地名と両方入っています。それはフォントを変えているのです。そして昔の地名がゴシックになっています。それが、他の地図と統一されているかなと思いました。

【三島委員】

これだけならば分からないですよ。今も、場所とか曳場のある感じに見てしまいます。地図2の方です。

【志賀委員】

かつての地名などと明記する必要があると思います。

【三島委員】

昭和何十年代の曳場ですということを書く必要があると思います。

【石橋委員】

ゴシック体はかつての場所・曳場を示していると直した方がよいと思う。

【事務局（森本）】

了解しました。修正します。

**【村山委員】**

右の北海道が入った地図では、地名がいろいろと入っておりますが、これは本文中に出てくる地名ですか、どちらかと言うと漁港のあった場所ですか。

**【工藤委員】**

厚田はおそらく本文に出てくる地名で、浜益は一般的に位置が分かるような選択をしております。

**【村山委員】**

可能であれば、厚田の地名が沢山あるので、浜益の方でスペースがあるので幌や群別の地名を入れた方が良いのかなと思います。

**【事務局（小林）】**

浜益の地名では、千代志別は本文中に出ていたので入れております。

**【村山委員】**

石狩全体の地名を認識するのに、浜益の方に1つ、2つ地名を入れた方が良いのかなと思います。浜益区の住民もこの本を見るのですから、自分の地域は随分寂しいなと思います。

**【事務局（及川）】**

やはり支所がある所は、入れた方が良くと思います。

**【事務局（森本）】**

支所がある浜益を追加します。この後1週間程度、原稿確認の時間を取ろうと思っておりますのでお気付きの点があれば見ていただき、後ほど言っていただいても結構です。

**【工藤委員】**

地図2の向きは、横から見る図ならば良いが、河口の向いている向きが何でこちらを向いている形になっているのかなと思います。通常、地図では北が45度くらいで、河口は右45度くらいの方に開いている形になるはずですが、これでは何かその反対側に傾いている感じがあり、しかも横から見るのですよね。本来縦長で見ているけれど、これを横にして横から見る図ということですよ。海岸線が水平になるようにしたらおさまりが良いのでは無いかと思いました。あまりこういう傾きになっているのはあまり見ないような気がするのです。

**【事務局（小林）】**

以前にご指摘を受けた本町の地区の通りに沿って、字名が付いているよというご指摘をいただいたところを文字で表現すると、この角度になってしまったというのが正直な所です。地図を傾けることは出来るのですが、文字も流れてしまうという感じがあります。どうでしょうか。

【工藤委員】

通りを横で見ると、水平になるように設定したという、だから、この角度になっているということですね。そういうことであればこのままでいいです。根拠が良く分からなかったので、図がこういう角度になっているのがあまり見たことがないので根拠は何だろうと思い、そちらを中心にしたということであればそれでいいと思います。

【事務局（森本）】

それでは、今いただいた意見で修正させていただきます。次に本文に移ります。見出しをゴシックの太い文字にした部分もありますが、見やすさの関係では今回は全体修正しませんでした。改行した方が良いのか、また、吉岡さんの文面中に丸から始まっているものが多くあり、それに段落を振るなど修正してはどうかと思っております。あくまでも、原稿に忠実にということでそのまま活かしてきております。やはり誤字や脱字の方が優先されるので、前回の初校時は、誤字、脱字を中心に見てきております。

【三島委員】

ゴシックにすること、一行を開けること、段落構成するなどですか、それを校正するのですか、どちらにするのですか。

【事務局（森本）】

皆さんのご意見もいただければ、段落を振ったり、改行したりとした方が見やすいかなと思っております。作業的にはかかりますが、少しでも見やすいようにしたいと思っております。基本的に大きな直しは今回が最後となります。全体に統一するかどうかの判断はこれが最後になります。

【三島委員】

全体統一してもいいですか、して欲しいと言っても良いのですか。

【石橋委員】

誤解を受けそうなところもあるので、印刷会社と相談の上、直せるならば直しても良いかなと、これはこれでも構わないと思います。

【三島委員】

石狩叢書として発刊するならば全体的に統一した方が読みやすいと思います。ただ、吉岡さんの原稿として発刊するならばこのままでも良いと思いますが、そうでは無いですよ。いしかり暦ではあまり直さないで、活字にしているということですか。

【工藤委員】

いしかり暦の段階で、自分の方で大分直しております。かなり直している。大分読みづらい所が色々あったのでそれは大分直しています。一般論で言えば、本人の原稿を尊重してとは言っても、読みづらい感じなのが良いのかという気はします。

【事務局（森本）】

自分が見ている、改行したり、1や②など番号を振った方が説明する時に分かり易いかなとは思っており、色んな人に見てもらえばそれくらいは振っても良いかなとは思っております。

【事務局（及川）】

全体に例外無く統一感を出すとなれば、時間にも難しいところもありますが、基本的には原稿をベースとなれば何となく見づらいつか、混同してしまうという所は、直しても良いのでは無いかなということが皆さんのご意見だと思います。

【事務局（森本）】

特に、1話、2話は、漁具の説明などが出てきており、読んでいて段落や改行、番号を振った方が、繋がりがあって分かり易いと思いました。

【事務局（及川）】

丸の見出しに丸の見出しになっております。小さい丸と大きい丸になっている。

【工藤委員】

自分も同じことを思いましたが、直し切れなかった。元原稿もそういうように階層がきちんとしていないのです。こちらのルールでやろうとしたが別のルールになってしまい、どういう風に揃えたら良いかよく分からない。1つの文書、1つの中でも微妙でこちらのルールでやるとこれは何か違うような階層になってしまうのがあったり、それで何となくこれで留めているものがある。

【志賀委員】

少し気になるのが、前半の方では、例えば13ページ、15ページなど段落の最初から丸で始まっている。見出しが丸で始まるのは分かるのですが。例えば、12ページのように10という番号になってその次に丸があるので、これがゼロなのか丸なのかという余計な混乱を招く。

【三島委員】

そういうのを直していきたいということですね。

【事務局（森本）】

多くの人に読んでもらうならばその方がいいと思っております。後の方の話は結構見やすいが、前半の方は非常に読んでいて見づらいなと思っております。

【志賀委員】

もう1つなのですが、理想の話なのですが、段落前に見出しがある、単語くらいの見出しがありますが、出来れば、軽めのゴシックにすれば、見出しだと分かります。

【事務局（森本）】

これについては、事務局にまかせていただいてもよろしいでしょうか。田岡委員長や石橋委員にも協力いただき、検討していきます。最低限の修正させていただきたいと思います。

**【工藤委員】**

吉岡さんの元の原稿は、その場その場のルールでやっているのでも統一性は無いです。それに統一性を与えることはいいと思います。ある程度整理しましたが、こんな風になると整理し切れなくなり、括弧と注の括弧がどう違うのかなど。ある程度、ルールを考えましたが、元の方がおそらく、その時その時でそういうことをやっている。丸にしても、数字で入れるというよりは、頭1つ下げるくらいの方がいいかもしれない。前の1、2、3と意味合いが違うかもしれない。単純に、頭1つ下げる方法もあるかもしれない。

**【事務局（森本）】**

それでは12日の金曜日まで、誤字や脱字を含め、気になるところがあれば言って下さい。よろしくお願いします。最後の叢書発刊編集委員会の挨拶ですが、全員、名前を連名で表記した方が良いでしょうか。

**【工藤委員】**

委員長が代表しているので、他委員の氏名は入れなくていいと思う。

**【三島委員】**

各委員の氏名はいると思う。

**【石橋委員】**

委員長の挨拶の後に、委員の氏名があればいいと思います。

**【事務局（及川）】**

いずれにしても、委員名はどこかに載せて、挨拶文については田岡委員長と相談します。

**【三島委員】**

吉岡さんの略歴ですが、学習シリーズのことを入れてほしいと言っておりませんでしたか。

**【事務局（森本）】**

吉岡さん本人に略歴の確認をいただき、追加事項も確認しましたが、特にありませんでした。

**【石橋委員】**

略歴に、現在手稲に住んでいることを追加してください。

**【三島委員】**

私と吉岡さんで学習シリーズをシリーズ化して何冊か出していますが、出来ればそれを入れて欲しい

です。

**【石橋委員】**

学習シリーズの話は、既に略歴の中に入っているから、特に入れなくても良いかなと私は思います。

**【事務局（森本）】**

了解しました。札幌市手稲区在住は入れたいと思います。

**【志賀委員】**

私の意見としては、叢書発刊編集委員会としての文書は、田岡委員長の名前だけでいいと思います。

**【事務局（森本）】**

委員名については、委員会の挨拶とは別にどこかに載せる形で調整します。それで、127頁の北千島の地図は2つの案を提示しております。全体図に長崎が載っているものと載っていないものですが、どちらが良いですか。

**【三島委員】**

案1の方がいいと思います。

**【村山委員】**

北千島の拡大図に長崎が入っていればいいと思います。

**【事務局（森本）】**

案1で進めます。それでは原稿確認を12日までにいただき、修正がありましたら私の方まで提出願います。

**【志賀委員】**

市長の序文が2021年と西暦となっており、奥付など、元号か西暦はあわす必要があると思います。できれば西暦は入れてほしいです。というのは、令和の時代にこの本を見れば良いのですけれど、次の元号になった時に「これ、いつ頃だ」ということになります。

**【事務局（及川）】**

了解しました。

**【事務局（森本）】**

それでは以上で委員会を終了します。今日はどうもありがとうございます。ご有難うございました。

令和3年3月31日 議事録確定

石狩市叢書発刊編集委員会 委員長 田岡克介